

男女共同参画についての市民意識調査

アンケートご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

春日井市では、現在、男女共同参画社会や女性活躍を推進するため、新たな男女共同参画プランの策定を進めているところです。

つきましては、市民の皆様の男女共同参画社会に対するお考えやご意見、実情を幅広くお伺いし、計画に反映させるため、意識調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年●月

春日井市長 伊藤 太

ご記入にあたってのお願い

- この調査の対象者は、春日井市在住の満20歳以上の方の中から無作為に2,000名を抽出させていただきました。
- 封筒の宛名の方が答えられない場合、ご本人に代わってご家族の方がお答えください。
(その場合、「あなた(回答者)ご自身について」には回答された方のことをご記入ください。)
- ご回答は、設問の案内にしたがって、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。
- ご回答で、「その他」に○をつけられた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- この調査の内容は、統計処理以外には使用しません。個人が特定されたり、個別の回答が公表されることはありません。
- ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、
●月●日(●)までに投函してください。

調査票・返信用封筒ともに無記名で結構です。また、切手は不要です。

(お問い合わせ先)

春日井市 市民生活部 男女共同参画課

TEL : 0568-85-4401 FAX : 0568-85-7890

Eメール : danjo@city.kasugai.lg.jp



©Kasugai City 2008

書のまち春日井「道風くん」

1 男女の平等意識について

問1 今の社会において、次の各分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
(①～⑧についてそれぞれ○を1つ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念、慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体	1	2	3	4	5	6

問2 次の言葉の中で、あなたが知っているまたは聞いたことがあるものはどれですか。
(①～⑪についてそれぞれ○を1つ)

	おおよその内容まで知っている	聞いたことがある	知らない
① 男女共同参画社会	1	2	3
② 男女雇用機会均等法	1	2	3
③ 育児・介護休業法	1	2	3
④ 女性活躍推進法	1	2	3
⑤ 政治分野における男女共同参画に関する法律	1	2	3
⑥ 配偶者暴力防止法（DV防止法）	1	2	3
⑦ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2	3
⑧ ジェンダー（社会的性別）	1	2	3
⑨ リプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関する女性の健康／権利）	1	2	3
⑩ ワーク・ライフ・バランス（仕事、家庭生活、地域・個人の生活などの調和）	1	2	3
⑪ ダイバーシティ（多様性）	1	2	3

2 家庭生活について

問3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたは
どう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかという賛成 |
| 3 どちらかという反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

問4 あなたは、次のような家庭内の仕事を、主に誰が受けもつのが理想だと思いま
すか。(①～⑥についてそれぞれ○を1つ)

<理想>	すべて 女性	主に 女性	男女で 協力	主に 男性	すべて 男性	わから ない
① 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
② 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6
③ 掃除	1	2	3	4	5	6
④ 洗濯	1	2	3	4	5	6
⑤ 育児・しつけ	1	2	3	4	5	6
⑥ 看護・介護	1	2	3	4	5	6

問5は現在結婚している方(事実婚を含む)におたずねします。それ以外の方は問6へ。

問5 あなたの家庭では、次のような家庭内の仕事を、現実には主に誰が受けもっていま
すか。(①～⑥についてそれぞれ○を1つ)

<現実>	すべて 女性	主に 女性	男女で 協力	主に 男性	すべて 男性	該当 しない
① 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
② 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6
③ 掃除	1	2	3	4	5	6
④ 洗濯	1	2	3	4	5	6
⑤ 育児・しつけ	1	2	3	4	5	6
⑥ 看護・介護	1	2	3	4	5	6

3 女性の職業生活について

問6 女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。（○は1つ）

- 1 女性は職業をもたない方がよい
- 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- 3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
- 4 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
- 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 6 その他（具体的に： _____ ）

問7 問6で回答した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 女性は家庭を守るべきだと思うから
- 2 子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから
- 3 保育料などを払うより、母親が家で子どもの面倒を見た方が合理的だと思うから
- 4 働き続けるのは大変そうだと思うから
- 5 仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから
- 6 働くことを通じて自己実現が図れると思うから
- 7 女性も経済力をもった方がいいと思うから
- 8 女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから
- 9 少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がいいと思うから
- 10 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから
- 11 その他（具体的に： _____ ）
- 12 特にない
- 13 わからない

問8 あなたは、女性が増える方がよいと思う職業や役職は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 閣僚（国務大臣）、都道府県議会議員・市（区）町村議会
- 2 国会議員、地方議会議員
- 3 国家公務員・地方公務員の管理職
- 4 裁判所、検察官、弁護士
- 5 大学教授・学長など
- 6 小中学校・高校の教頭・副校長・校長
- 7 独立行政法人・公益財団・公益社団など各種団体の役員
- 8 企業の技術者・研究者
- 9 企業の管理職
- 10 上場企業の役員
- 11 起業家
- 12 新聞・放送の記者
- 13 自治会長、町内会長など
- 14 医師・歯科医師
- 15 スポーツ指導者・監督など
- 16 特にない
- 17 その他（具体的に： _____）
- 18 わからない

問9 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性リーダーの登用が進んでいない理由は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
- 2 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
- 3 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
- 4 ロールモデルが少ないため、女性が自身のキャリアを思い描くことが難しいこと
- 5 長時間労働の改善が十分ではないこと
- 6 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること
- 7 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
- 8 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
- 9 その他（具体的に： _____）
- 10 特にない
- 11 わからない

4 ワーク・ライフ・バランスについて

問10 あなたは、男女が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。（〇は3つまで）

- 1 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
- 2 介護支援サービスの充実
- 3 家事・育児支援サービスの充実
- 4 男性が家事・育児・介護などに参加することへの周囲の理解・意識改革
- 5 家事・育児・介護などに参加することへの男性自身の意識改革
- 6 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
- 7 働き続けることへの女性自身の意識改革
- 8 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
- 9 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
- 10 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 11 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
- 12 その他（具体的に： _____）
- 13 特にない
- 14 わからない

問11 あなたは、男性が育児休業や介護休業を利用することについてどう思いますか。（〇は1つ）

- 1 男性も積極的に取るべき
- 2 男性が取ることには賛成だが、現実的には取りづらいと思う
- 3 わからない
- 4 男性が取る必要はない

問11-1へ

問11で、「1～3」のいずれかに回答した方におたずねします。

問11-1 あなたは、男性が育児休業や介護休業を取得するためにどのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 家族の理解
- 2 取得しやすい職場の雰囲気
- 3 取得に対する男性自身の抵抗感をなくす
- 4 男性自身が家事・育児・介護に対して当事者意識を持つ
- 5 事業主や管理職の理解・奨励
- 6 育児休業制度・介護休業制度を活用するためのPR
- 7 育児休業・介護休業中の経済的な援助
- 8 代替要員の確保
- 9 職場復帰後の労働条件の保障
- 10 育児休業・介護休業取得後スムーズに職場に復帰するための支援
- 11 保育園に入れないなど特別な理由がある場合の休業期間延長など柔軟な対応
- 12 育児休業・介護休業中の会社の情報提供など職場とのつながり
- 13 その他（具体的に： _____）

問12、問13は、仕事に就いている方におたずねします。それ以外の方は問14へ。

問12 あなたは、暮らしの中での「仕事」、「家庭」、「地域・個人（付き合い、学習・趣味など）」の生活で何を優先しますか。（A、Bについてそれぞれ○を1つ）

A 希望として

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい

B 現実として

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している

問13 “ワーク・ライフ・バランス”とは、仕事や家庭生活、地域・個人の生活が自分の希望に合い調和していることを言います。あなたの生活は、ワーク・ライフ・バランスがうまくとれていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

5 地域活動について

問14 最近5年間に、あなたは、次のような地域活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 趣味・教養文化講座への参加 | 2 女性団体・グループの活動 |
| 3 子ども会、PTAなどの青少年育成活動 | 4 消費者団体、生活協同組合などの活動 |
| 5 福祉ボランティアやNPOなどの活動 | 6 健康づくりや介護予防の活動 |
| 7 安全なまちづくりや防災などの市民活動 | 8 区・町内会・自治会の活動 |
| 9 スポーツ・レクリエーション活動 | 10 環境に関わる活動 |
| 11 いずれの活動にも参加しなかった | |

▶問14で、「11」と回答した方におたずねします。

問14-1 いずれの活動にも参加しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 仕事が忙しいから | 2 家事・育児・介護などで忙しいから |
| 3 自分の健康上の理由から | 4 地域活動に興味がないから |
| 5 地域の間人間関係がわずらわしいから | 6 参加したいが家族の理解が得られないから |
| 7 どんな地域活動があるかわからないから | 8 参加方法がわからないから |
| 9 参加したい地域活動がないから | 10 その他(具体的に：) |

問15 災害時の避難所運営について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つ)

- 1 避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること
- 2 男女別トイレや洗濯干場、授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること
- 3 生理用品や育児・介護用品などがスムーズに配布されるように体制を整えること
- 4 女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な性別役割分担意識を解消すること
- 5 女性および男性が抱えた悩みや避難所生活上の問題を受け付ける窓口を設置すること
- 6 性暴力等の被害を発生させないための取り組み及び被害者へのケア体制の充実
- 7 その他(具体的に：)
- 8 わからない

7 人権の尊重について

問18 あなたは、夫婦や恋人との間で、次のような行為があったとき、それを暴力だと思いますか。(①～⑩についてそれぞれ○を1つ)

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
① 平手で打つ	1	2	3
② 足でける	1	2	3
③ 殴るふりをしておどす	1	2	3
④ 大声でどなる	1	2	3
⑤ 他の異性との会話を許さない	1	2	3
⑥ 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3
⑦ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑧ 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
⑨ 嫌がっているのに、性的な行為を強要する	1	2	3
⑩ 避妊に協力しない	1	2	3

問19 最近5年間に、あなたは恋人や配偶者から、身体的・精神的・性的・経済的に暴力を受けたことがありますか。(○は1つ)

- 1 何度もあった 2 一、二度あった 3 まったくない

▶問19で、「1」または「2」と回答した方におたずねします。

問19-1 それはどのような暴力ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 命の危険を感じるくらいの身体的暴力 2 治療を必要とするくらいの身体的暴力
 3 治療を必要としないくらいの身体的暴力 4 精神的暴力
 5 性的暴力 6 経済的暴力
 7 その他(具体的に: _____)

問19で、「1」または「2」と回答した方におたずねします。

問19-2 あなたは、暴力を受けたときに、誰（どこ）に相談をしましたか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 家族・親戚 | 2 友人・知人 |
| 3 警察 | 4 市の相談窓口（DV相談窓口など） |
| 5 愛知県女性相談センター | 6 医療機関（医師・看護師など） |
| 7 弁護士 | 8 その他（具体的に： _____） |
| 9 相談しなかった（できなかった） | 10 相談しようと思わなかった |

問19-2で、「9」または「10」と回答した方におたずねします。

問19-2-1 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 誰（どこ）に相談していいのかわからなかったから
- 2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 3 相談しても無駄だと思ったから
- 4 相談したことがわかると、仕返しやもっとひどい暴力を受けると思ったから
- 5 相談相手の言動により、不快な思いをさせられると思ったから
- 6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから
- 7 世間体が悪いと思ったから
- 8 他人を巻き込みたくなかったから
- 9 自分に悪いところがあると思ったから
- 10 相談するほどのことではないと思ったから
- 11 その他（具体的に： _____）

問20 次の言葉の中で、あなたが知っているまたは聞いたことがあるものはどれですか。
（①～⑤についてそれぞれ○を1つ）

	おおよその内容まで知っている	聞いたことがある	知らない
① LGBT（※ ¹ レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの総称）	1	2	3
② SOGI（※ ² 性的指向と性自認）	1	2	3
③ カミングアウト（本人が自分の性的指向や性自認を表明すること）	1	2	3
④ アウティング（他者が本人の了承なく、性的指向や性自認を暴露すること）	1	2	3
⑤ アライ（性的少数者に寄り添い理解する人）	1	2	3

- | | | |
|----|-----------|-------------------------|
| ※1 | レズビアン | 同性を好きになる女性 |
| | ゲイ | 同性を好きになる男性 |
| | バイセクシュアル | 両方の性を好きになる人 |
| | トランスジェンダー | 出生時に割り当てられた性と自認する性が異なる人 |
| ※2 | 性的指向 | どのような性を好きになるか |
| | 性自認 | 自分の性をどのように認識しているか |

問22で、「1 思う」「2 どちらかと言えば思う」と回答した方にお聞きします。

問22-2 性的少数者（LGBT等）の方々にとって、偏見や差別をなくし生活しやすい社会を実現するためには、どのような対策が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 行政による市民への周知啓発活動の実施
- 2 行政職員や小中高校などの教職員に対する研修の実施
- 3 相談窓口や当事者同士が話せる場所の充実
- 4 児童・生徒に対する教育の充実
- 5 偏見や差別解消等を目的とする、法律や条例等の整備
- 6 誰もが働きやすい職場環境づくりの取り組み
- 7 その他（）
- 8 わからない

問23 現在、「同性パートナーシップ制度※」を制定している自治体がありますが、あなたは必要だと思いますか。（〇は1つ）

- 1 思う
- 2 どちらかと言えば思う
- 3 どちらかと言えば思わない
- 4 思わない

※ 同性カップルを「婚姻に相当する関係」と認め、お互いを「パートナー」とすることを自治体が公に証明する制度

問24 あなたは、身近な人（家族、友人等）から性的少数者（LGBT等）であることを打ち明けられたらどうしますか。（〇は1つ）

- 1 本人が生きたいように手助けする
- 2 今まで通りつき合う
- 3 隠すようすすめるが、今まで通りつき合う
- 4 疎遠になるかもしれない
- 5 つき合いをやめる
- 6 その他（具体的に：）

8 市の男女共同参画の取り組みについて

問25 春日井市では男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みをしています。あなたが知っているまたは聞いたことがあるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 新かすがい男女共同参画プラン | 2 春日井市男女共同参画推進条例 |
| 3 かすがい男女共同参画市民フォーラム | 4 かすがい市男女共同参画情報紙「はるか」 |
| 5 第3次春日井市DV対策基本計画 | 6 市のDV相談窓口 |
| 7 女性の悩み相談窓口 | 8 女性のための法律相談窓口 |
| 9 知っているものはない | |

問26 男女共同参画社会を形成していくため、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1 男女共同参画に関する広報・啓発を推進する
- 2 社会教育などにおいて、男女平等・男女共同参画に関する教育・学習を推進する
- 3 学校教育において、男女平等の教育を推進する
- 4 女性のための各種相談を充実する
- 5 男性のための相談場所を設ける
- 6 政策・方針決定の場へ女性の参画を拡充する
- 7 母性保護の向上を促進し、母子保健を充実する
- 8 子育て支援の推進と保育サービスの充実を行う
- 9 仕事と家庭の両立のための職場における支援を促進する
- 10 女性に対する意識啓発や研修を実施する
- 11 男性に対する意識啓発や研修を実施する
- 12 高齢者や障がい者などの生活安定と自立支援を充実する
- 13 職場における男女の均等な取り扱いについて、周知徹底を行う
- 14 女性のチャレンジ支援を推進する（起業、リーダー養成、地域活動等）
- 15 異性や子どもに対する暴力防止対策や被害者支援を推進する
- 16 防災や復興支援などにおいて、男女共同参画を推進する
- 17 その他（具体的に： _____）
- 18 特にない

9 あなた（回答者）ご自身について

① あなたの性別は？ (自認の性でお答えください)	1 男性	2 女性	
② あなたの年齢は？ (令和2年9月1日現在)	1 20歳代 4 50歳代	2 30歳代 5 60歳代	3 40歳代 6 70歳以上
③ 結婚されていますか？	1 既婚（事実婚を含む） 3 離別	2 未婚 4 死別	
④ あなたの職業は？	1 会社員 3 派遣・契約社員 5 自営業 7 内職・在宅就業 9 学生 11 その他()	2 公務員 4 パートタイム・アルバイト 6 農業 8 専業主婦・専業主夫 10 無職	
⑤ 結婚されている方におたずねします 配偶者の職業は？	1 会社員 3 派遣・契約社員 5 自営業 7 内職・在宅就業 9 学生 11 その他()	2 公務員 4 パートタイム・アルバイト 6 農業 8 専業主婦・専業主夫 10 無職	
⑥ お子さんは？	(同居していないお子さんを含む) 1 いる()人		2 いない
(「1 いる」と答えた方) 問⑥-1 一番下のお子さんの年齢は？	満()歳		
⑦ あなたと同居している家族の構成は？	1 夫婦（事実婚を含む）のみ 3 夫婦（事実婚を含む）と親 5 母親または父親と子ども 7 その他()	2 夫婦（事実婚を含む）と子ども 4 親・子・孫の三世代 6 単身	

長時間にわたりお疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒に入れて

●月●日(●)までに

郵便ポストに投函してください。（切手は不要です。）



©Kasugai City 2008

書のまち春日井「道風くん」